

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内6月分

新潟市早期景気観測調査6月分（当所管内）

（調査期間：6/3～6/11 回答数115/290）

新潟商工会議所会員サービス課

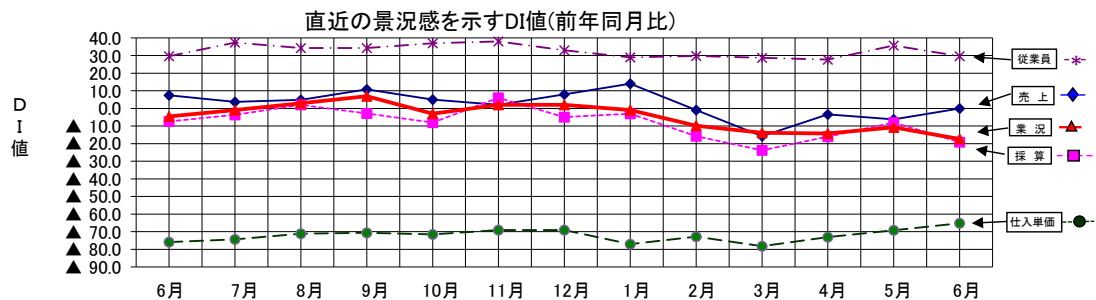
【6月の概要】

売上は持ち直すも、採算と業況は悪化傾向 人材確保の課題続く

直近の景況感を示すDI値では、「売上DI」が前月から6.3ポイント改善し、5か月ぶりにマイナス圏を脱した。一方、「採算DI」は前月の▲8.0から▲19.1へ11.1ポイント悪化、「業況DI」も▲10.7から▲17.4へ6.7ポイント悪化し、業況はこの1年で最も低い水準となった。「仕入単価DI」は前月から4.0ポイント改善し、コスト面での落ち着きが一部に見られるが、価格転嫁の難しさを指摘する声も多い。「従業員DI」は29.6と高止まりしており、依然として人手不足が解消されていない。

先行き見通しでは、「売上」「採算」「業況」の各DIが改善傾向にあり、慎重ながらも回復への期待がうかがえる。

コメントでは、コスト上昇による利益圧迫や採用活動に伴う経費の増加、人手不足の長期化、さらに熱中症対策義務化への対応などが挙げられた。多くの業種でこうした課題が共通しており、回復の足取りは鈍い状況が続いている。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数:Diffusion Index の略)=(良い割合)-(悪い割合)

※従業員=(不足)-(過剰)

	2024年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	2025年 6月
売上	7.4	3.7	4.9	10.8	5.0	2.0	8.0	14.0	▲ 1.0	▲ 15.8	▲ 3.4	▲ 6.3	0.0
採算	▲ 7.4	▲ 3.7	2.0	▲ 2.9	▲ 8.0	6.0	▲ 5.0	▲ 3.0	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 16.0	▲ 8.0	▲ 19.1
業況	▲ 4.6	▲ 0.9	2.9	6.9	▲ 3.0	2.0	2.0	▲ 1.0	▲ 9.9	▲ 13.9	▲ 14.3	▲ 10.7	▲ 17.4
仕入単価	▲ 75.9	▲ 74.3	▲ 71.1	▲ 70.6	▲ 71.5	▲ 69.0	▲ 69.0	▲ 77.0	▲ 72.8	▲ 78.2	▲ 73.1	▲ 69.2	▲ 65.2
従業員	29.6	37.4	34.3	34.3	37.0	38.0	33.0	29.0	29.7	28.7	27.7	35.7	29.6

- ・前月比でマイナス幅が減少（改善）したDI値：売上+6.3ポイント、仕入単価+4.0ポイント
- ・前月比でプラス幅が減少（改善）したDI値：従業員▲6.1ポイント（人手不足感が弱まった）
- ・前月比でマイナス幅が増加（悪化）したDI値：採算▲11.1、業況▲6.7

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
4月回答	▲ 3.4	▲ 21.0	▲ 15.1	▲ 50.4	26.9
5月回答	▲ 8.0	▲ 16.1	▲ 16.1	▲ 45.5	31.3
6月回答	9.6	▲ 5.2	▲ 8.7	▲ 51.3	30.4

- ・前月比で見通しが改善したDI値：売上+17.6ポイント、採算+10.9ポイント、業況+7.4ポイント、従業員▲0.9ポイント（人手不足感が弱まった）
- ・前月比で見通しが悪化したDI値：仕入単価▲5.8ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電力メンテナンス	物価高に加え、人材確保のための人件費や採用活動にかかる経費の増加が、採算を圧迫している。
	土木・建築	6月より暑さ指数（WBGT）による熱中症対策が義務化されている。施工現場としては、丁寧な情報共有、予兆がある場合の早めの判断、暑さ対策のラインナップを充実し、備えている。
製造業	溶接加工	原材料価格は全体として落ち着きつつあるが、特殊な銅板など一部の資材は依然として入手が難しい。メーカー側の対応の遅れが影響しているとみられる。
卸売業	コーヒ	値上げによる売上増加となる見込みだが、消費マインドの冷え込みが懸念される。
小売業	自動車	メーカーからの供給が整わず、また新商品もないため在庫販売で苦戦を強いられている。販売低調により周辺利益も悪化と悪循環となっている。
サービス業	ホテル	売上は前年を上回っているものの、人件費や食材費、電気代などのコスト上昇が収益を圧迫している。価格転嫁は限定的にとどまり、利益の確保が難しい状況が続いている。
	タクシー	燃料費は政府の補助や円高の影響でやや下がっているものの、依然として高止まりの状況が続いている。人手不足も解消されておらず、特に繁忙時間帯には車両不足が深刻化している。佐渡金山の世界遺産登録から間もなく1年を迎えるが、新潟市内ではその恩恵をあまり実感できていない。
	建設機械レンタル	売上状況は前年同様か好転しているが、各種原材料等の高騰価格を売上に転嫁できていない状況が続いている。

※本コメントは、調査結果の一部を編集・要約したものです。内容の趣旨を損なわない範囲で表現の調整を行っています。

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 6月分 各業界からのコメント

建設業
・従業員数には、今年4月入社の新卒採用31名を含む（役員6名除く）来春採用人数も本年程度を目指している ・建設コスト上昇分について、工事価格への転嫁が徐々に進んでおり、今後、利益率改善が見込まれる ・専門業者不足は関東圏を中心に深刻となり、当社建設技術者の人繰りと併せて、一部の案件で取組みの見送りといったケースも出ている ・関東圏での大型工事の取組みが増す一方、工事代金回収までの立替額も増加しており、市場金利の上昇と相俟って、運転資金借入によって生じる金利負担が、例年より増しているため、工事代金回収条件の改善が必要となっている
物価高、人材確保のための人件費増、人材採用のための経費増等が採算を圧迫している。
6月よりWBGTによる熱中症対策が義務化されている。施工現場としては、丁寧な情報共有、予兆がある場合の早めの判断、暑さ対策の商品ラインナップを充実し、備えている。
新潟県、新潟市の工事請負金額、人工単価が安いままで上がらない。 関東、関西のお客様はその点理解してくれる。零細企業はもちません。商工会議所を筆頭にして新潟県の工事、人工金額が上がるように協力をお願いします。
製造業
原材料価格は落ち着いてきているが弊社が扱う特殊な鋼板など一部物が手に入らない状態。原因はメーカーの動きが鈍いためようだ。決算はまだ出ていないが何とか社員にボーナスを去年並みに支給できそうである。
卸売業
値上げによる売上増加となる見込みだが、消費マインド冷え込が懸念される。
公共資材卸の為、端境期に突入夏枯れ。（引合い案件減少）
小売業
周辺商業施設や大型店の閉店、再開の遅れで客足が遠のいている。 業界もメーカーによって浮沈の差が多くなってきたようだ。双方に転換期が訪れているようだ。
メーカーからの供給が整わず、また新商品もないため在庫販売で苦戦を強いられているため。販売低調により周辺利益も悪化と悪循環となっている。
昨年に比べ円高傾向のため、仕入価格を抑制できる見込み。 6月1日から熱中症対策の義務化により、各企業大きく仕掛けている。
乳価の上昇による原材料の高騰により商品価格変更や米の価格上昇によるパン需要の上昇など安定して経営することを難しく感じています。
サービス業
売上は前年以上に推移していても比例してコスト掛かっている。 （人件費・食材・電気料）価格転嫁も最低限に留めると利益構造も今迄通りにはいなくなるのが心配。
給与定期昇給と大卒初任給アップから人件費が利益に影響を与えている状況であるが、価格転嫁をスムーズに進められて影響を最小限に抑制できている。
各種商談を前倒しで進める事で、昨年度より好調な売り上げの伸びとなりそうである。それらを受け、毎年実施している社員旅行の企画も進めているが、バス運転手の不足からバスの予約が年々厳しくなっている。
ドライバー不足により外注費が大幅に増加している。採用状況も芳しくなく先行きが不安である。
燃料関係は、政府補助及び円高の影響から下降気味だが、従前と比較して高止まりのまま人手不足は相変わらずであり、繁忙時間は車両不足が顕著。佐渡島金山の遺産登録から間もなく1年を迎えるが、新潟市内の恩恵はあまり感じられない。
新潟市の生活応援プレミアム商品券が始まるが、取扱店は5%の手数料を取られる。物価高騰に苦しんでいるのは消費者だけでなく事業者でもある。ただでさえキャッシュレス決済で支払手数料が増えている。行政のコストで手数料のかからない手法の方が有りがたいと思う。
従業員は昨年と比べ正社員・パートと補充ができて、人数的には十分であるが、未経験者が多いのでいかにして早く戦力になってもらうか、また、長く続けてもらうかが課題となっている。
売上状況は前年同様か好転しているが、各種原材料等の高騰価格を売上に転嫁できていない状況が続いている。